

## ～町おこしワークショップ～

夏季休業が明け、早速、町おこしワークショップ（中期）が始まりました。8月30日（水）に第1弾、9月14日（木）に第2弾、20日（水）に第3弾を実施しました。農林水産業に焦点を当てたワークショップです。お忙しい中、講師として来校いただきました皆様、ありがとうございました。

### 島を活性化するために、できること

8月30日の第1弾では奥尻町役場農林水産課の満島章さんに来校していただき、『奥尻米を使った商品開発とPR方法』というテーマで商品企画とPR方法のプランをたてました。（写真 右）

小麦にアレルギーを持つ方のために「米粉のパンや麺を作ってみたらどうだろう」という考えや、女性をターゲットにして「パックや化粧水のような美容商品を開発してみるのはいかがでしょうか」というような意見などが出ました。また、PR方法ではCMを流すことや試食のようなイベントを行う、島外のコンビニに奥尻米を使ったおにぎりを商品として大々的に陳列してもらう等の意見が出ました。



9月14日の第2弾では檜山振興局檜山地区水産技術普及指導所奥尻支所の支所長である吉田聡さんに来校していただき、『岩ガキをいかにPRするか』というテーマでPRプランを検討しました。（写真 左）

これからの奥尻の特産品になるであろう岩ガキのPR方法として、イメージキャラクターを作ったり、ブランド感を押しだしたキャッチコピーの作成など新たに様々な意見が出てきました。

また、現在すでに作られているポスターについても背景の色合いを明るくしたらどうだろうか、キャッチコピーの文言を変えてみてはどうか、など改善案の提案も多く出ました。

20日の第3弾では檜山森林管理署奥尻森林事務所の中山晃一さんに来校いただき、『山の自然を活かした観光プラン』というテーマで、山の木々や花などの植物や動物に焦点を当てた観光プラン作りに取り組みました。その中では、花や樹木などの自然写真コンテストの実施や山菜やキノコ狩り&BBQというような体験型観光など面白く興味深い提案がなされました。（写真 右）

回を追うごとに生徒たちの話し合い方が洗練されてきて短時間でもお互いの意見をまとめ、発表ができるようになってきました。また、生徒たちの活動を見ていると、奥尻を自分たちの力で活性化させたいという意識もどんどん高まっているように思います。

